

三郷出張所だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa> に掲載しています。

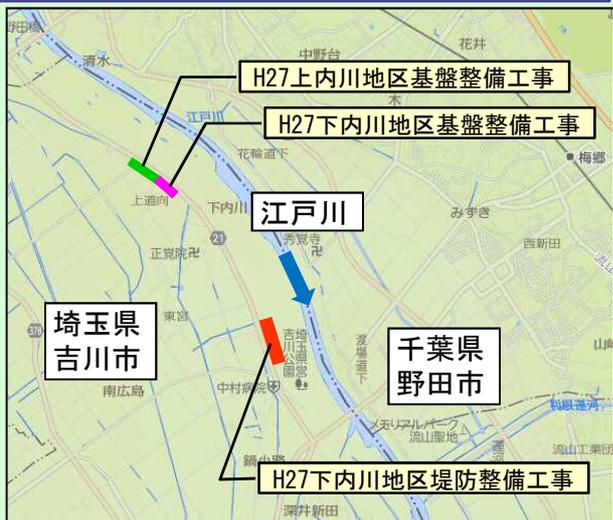
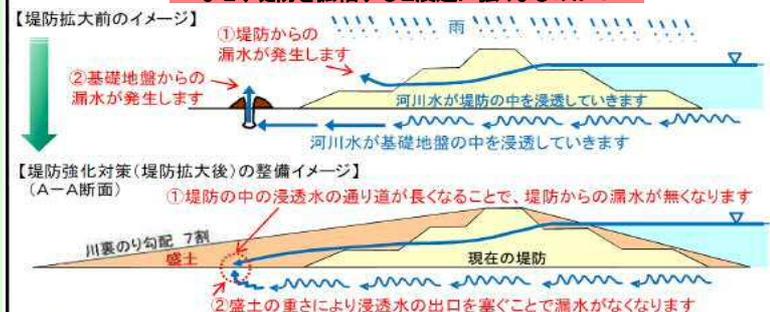
国土交通省関東地方整備局
 江戸川河川事務所
 三郷出張所 発行
 電話 048(952)7015
 2017年2月【第37号】

吉川市上内川地区、下内川地区では、こんな工事を行っています。

江戸川の右岸堤防については、浸透に対する堤防の安全性を向上させるため、平成16年度より堤防の断面積を大きくし、浸透による堤防の決壊を防ぐための対策工（首都圏氾濫区域堤防強化対策）が鋭意進められています。

【首都圏氾濫区域堤防強化対策】 堤防の断面積を大きくし、浸透による堤防の決壊を防ぎます。

なぜ、堤防を拡幅すると浸透に強くなるのか？



埼玉県吉川市上内川地先及び下内川地先において、上記対策工に関連した基盤整備工事2件並びに堤防整備工事1件が、昨年11月の出水期明けから、本格的に現場作業に着手しています。

- ・ 「H27上内川地区基盤整備工事」 (小川工業(株)施工)
- ・ 「H27下内川地区基盤整備工事」 (日本道路(株)施工)
- ・ 「H27下内川地区堤防整備工事」 (川村建設(株)施工)

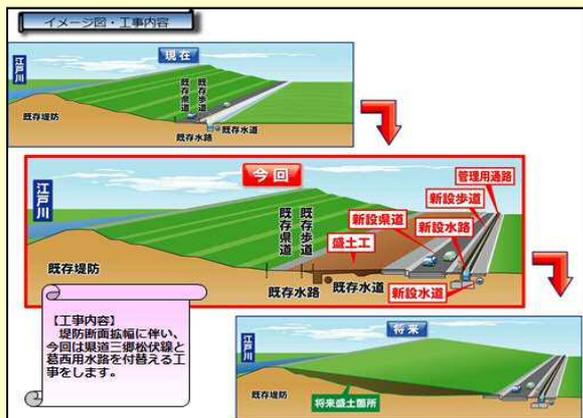
今回、この3件の工事状況につきまして、それぞれ紹介させていただきます。

「H27上内川地区基盤整備工事」並びに「H27下内川地区基盤整備工事」

今回の工事は、現在ある江戸川右岸の堤防断面を拡幅するにあたり、堤防脇を通る県道（主要地方道三郷松伏線）と併設する葛西用水路が支障となるため、この県道と用水路を付け替える（移設する）ことを目的に今年の3月まで工事を行う予定としております。

工事内容については、一連の区間を2分割する形で工事を進めており、上内川地区（上流側）での工事延長が約420m、下内川地区（下流側）での工事延長が約310mと、全体で約730mの付け替え工事を行っています。

この基盤整備工事が完了した翌年度以降、堤防断面の拡幅工事（盛土工事）を実施し、堤防の安全性向上に努めていきます。



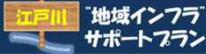
「H27下内川地区堤防整備工事」

今回の工事は、平成27年度に完成した基盤整備工事に続く堤防強化対策工事として、本格的な堤防の拡幅工事（第一期盛土工事）を、今年の3月まで行う予定としております。

工事内容については、施工延長約680m、土砂量約55,000m³の盛土工事を行う予定です。

この工事では、国土交通省が目指す **ICT活用工事**※をいち早く採用し、ドローンを使用した三次元測量の実施や、情報化施工機器として、GPS（全地球無線測位システム）機能を搭載した重機類（ブルドーザー）を活用し、生産性向上に取り組んでおります。

江戸川河川事務所のホームページでは、「地域インフラサポートプラン 関東2016」と題してコンテンツを、下記アドレスに掲載しております。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00776.html>



※ i-Construction “ICT活用工事”とは？

将来の労働力不足が懸念される建設業界では、今後とも安全と成長を支える“地域インフラ”であり続けるため、担い手の確保に加え、生産性の向上が求められています。そのため、ICT技術（3次元起工測量、3次元設計データ作成、ICT建機による施工、3次元出来形管理等）を用いるICT土工を試行して、これまで手つかずであった土工の生産性を向上させます。

イメージ図・工事内容

①表土・段切

盛土に先立ち、今までの面と盛土面が滑らないように表土をはぎとり、階段状に堤防をカットします。

②盛土

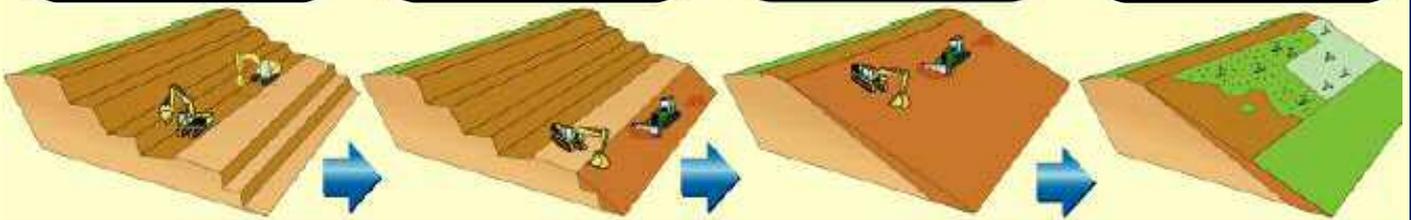
バックホウやブルドーザーを使って運搬してきた土砂を盛っていきます。

③法面整形

バックホウやブルドーザーを使って法面を整形します。

④表土敷均し

法面整形完了後、最初にはぎとった表土を前面に敷均します。



※ダンプによる盛土材の運搬状況



※盛土材の敷均し状況



※MC（マシンコントロール）ブルドーザーによる転圧作業

（3枚の写真いずれも平成29.1.17撮影）

漂流・漂着ゴミの回収作業を行いました。

三郷出張所ではこの冬、中川左岸の護岸や河川敷付近、及び大場川放水路周辺に漂う漂着・漂流ゴミについて回収作業を実施しました。

毎回のことですが、大量のゴミ類を回収してすぐは良いのですが、少し時間が経てば、また元の木阿弥に戻ってしまう最近の状況。河川管理者のみならず、本当に何とかならないものでしょうか。

《中川左岸26.5k付近（八条橋下流）》



回収作業後



《大場川放水路（大場川第二水門西側付近）》



回収作業後



《第二大場川（第二大場川橋北側付近）》



回収作業後



☆ あ と が き ☆

今年は「酉年」。大きく羽ばたく年になるのか、はたまた、ゆっくり羽休めをする年になるのか、非常に興味のあるところです。

昨年11月に関東でも積雪が観測されて以降、雪の舞う状況にはあまり巡り会っていませんが、昨年の冬のような、比較的暖かかった『冬』ではなく、冬らしい『冬』が訪れてくれているように今年を感じられます。

河川工事も年度末に向けよいよラストスパート、天候や作業工程を気にしがちですが、是非とも「無事故」で作業を終えてほしいと案ずる今日この頃です。

江戸川河川事務所
携帯版ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/m/index.htm>

